

2020年表のサービス分野のSUTのイメージ（素案）

資料4
第11回国民経済計算体系的整備部会
SUTタスクフォース会合
平成31年1月9日
配布資料

供給・使用表

供給表							
全産業(サービス業以外も含む。)							
	製造業α	製造業β	..	サービス業γ	サービス業δ	..	合計
財A	100	10		20	30		200
財B	20	200		30	20		300
..							
サービス生産物C	30	40		500	10		750
サービス生産物D	50	30		40	400		600
..							
合計	200	400		800	550		

サービス分野の使用表

産業(サービス業のみ)							
	製造業α	製造業β	..	サービス業γ	サービス業δ	..	
財A				40	30		
財B				50	40		
..							
サービス生産物C				30	30		
サービス生産物D				60	70		
..							
合計				800	550		

各種基礎統計

- ・経済センサス-活動調査
- ・サービス産業・非営利団体等投入調査
- など

①サービス部門を中心に推計に利用

産業連関表

③結果の反映・整合性

②計数調整(バランスング)

	財A	財B	..	サービス生産物C	サービス生産物D	..	
財A				42	32		
財B				47	38		
..							
サービス生産物C				29	32		
サービス生産物D				56	76		
..							
合計				750	600		

従来を踏襲した推計

ステップ1 経済センサス-活動調査等による供給表($I \times P$)の第一次推計

製造業等 ESベースの品目別売上高等のデータを把握し、「産業」ごとに推計
サービス業 ENベースのデータを把握し、「産業」ごとに推計

ステップ2 サービス分野による列(I)部門(サービス産業・非営利団体等投入調査の対象)における使用表($I \times P$)の第一次推計

上記データの産業概念の補正(⇒場合によっては産業概念の再整理)
サービス分野の列(I)部門の推計

ステップ3 サービス分野の生産物ごとの第一次投入額($P \times P$)を推計

Pの投入構造推計のため、当該Pを主に産出するIの投入(ステップ2のサービス分野の $I \times P$ 表)などを用いて、サービス分野の列(P)部門を推計(⇒当該Pがサービス分野以外からの産出の影響が大きい場合などの対応を検討)

ステップ4 サービス分野以外も含む生産物ごとの第一次投入額($P \times P$)の推計

サービス分野以外の列(P)部門は、従来と同様の手法により推計し、ステップ3とあわせ、すべての列(P)部門ごとの投入項目別の計数を推計

ステップ5 生産物ごとの第一次産出額($P \times P$)の推計

すべての行(P)部門の産出先別の計数について、従来と同様の手法により推計

ステップ6 投入額と産出額($P \times P$)の計数調整

ステップ4と5の計数(セルごとに2種類の計数)から、従来と同様の手法により推計(計数調整)し、その結果を産業連関表として公表

ステップ7 供給・使用表($I \times P$)の補正

ステップ6のデータから商品技術仮定により推計した使用表により、ステップ1・2のデータを補正し、その結果を供給・使用表として公表

※サービス分野以外も含めた使用表と供給表

ステップ1

経済センサス-活動調査等による供給表 (I×P) の第一次推計 ——経済センサス活動調査から得られる情報——

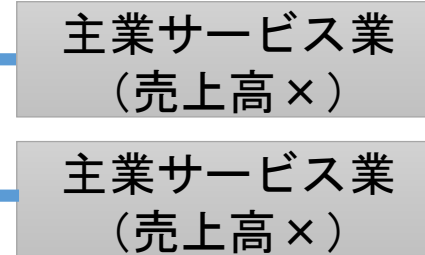
サービス業を主業とする企業について

《傘下事業所が主業として製造業を行わない複数事業所企業の場合》

【企業】

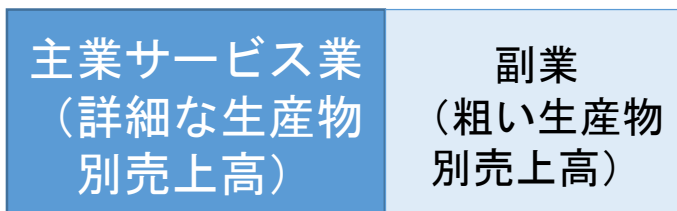


【事業所】

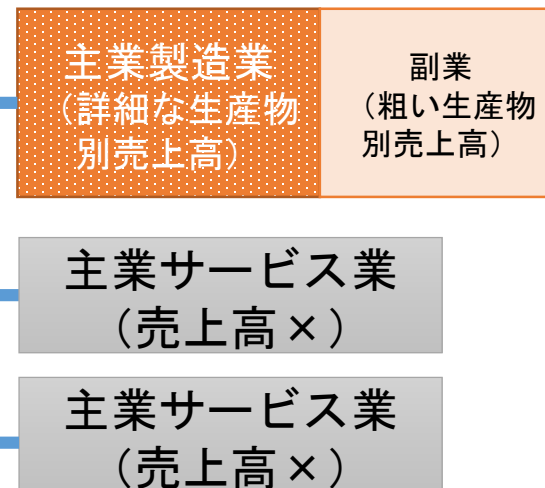


《傘下事業所が主業として製造業を行う複数事業所企業の場合》

【企業】



【事業所】

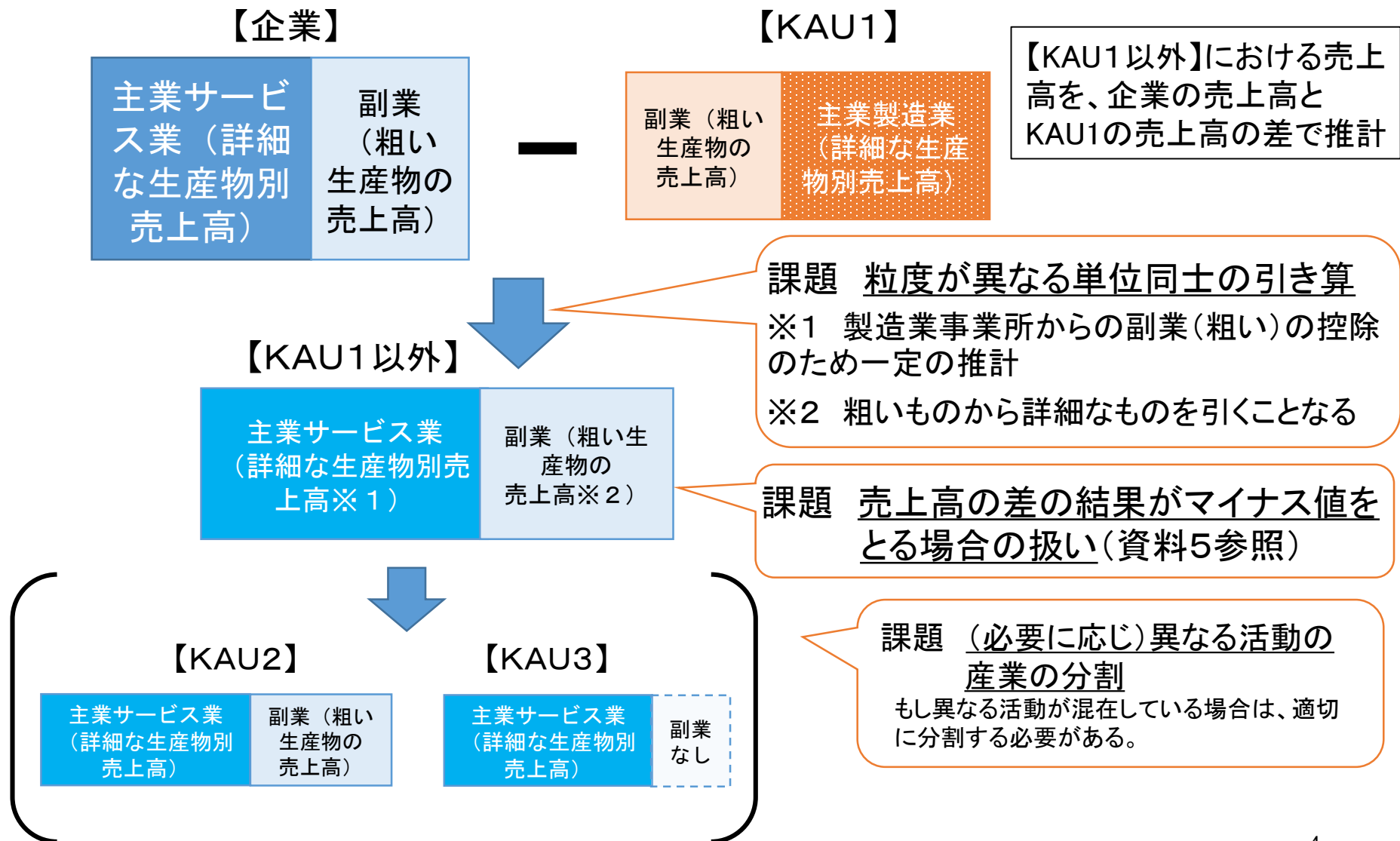


※産業格付けは産業小から細分類程度

※色の濃さは生産物把握の粒度を表す。

ステップ1

経済センサス-活動調査等による供給表 (I×P) の第一次推計 ——企業からKAUの推計——



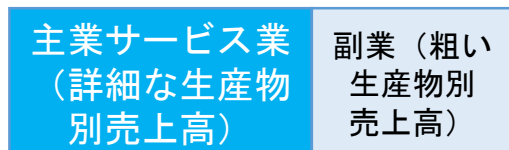
ステップ1

経済センサス-活動調査等による供給表 (I×P) の第一次推計 ——副業の分割等——

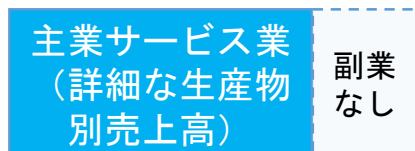
【KAU1】



【KAU2】



【KAU3】



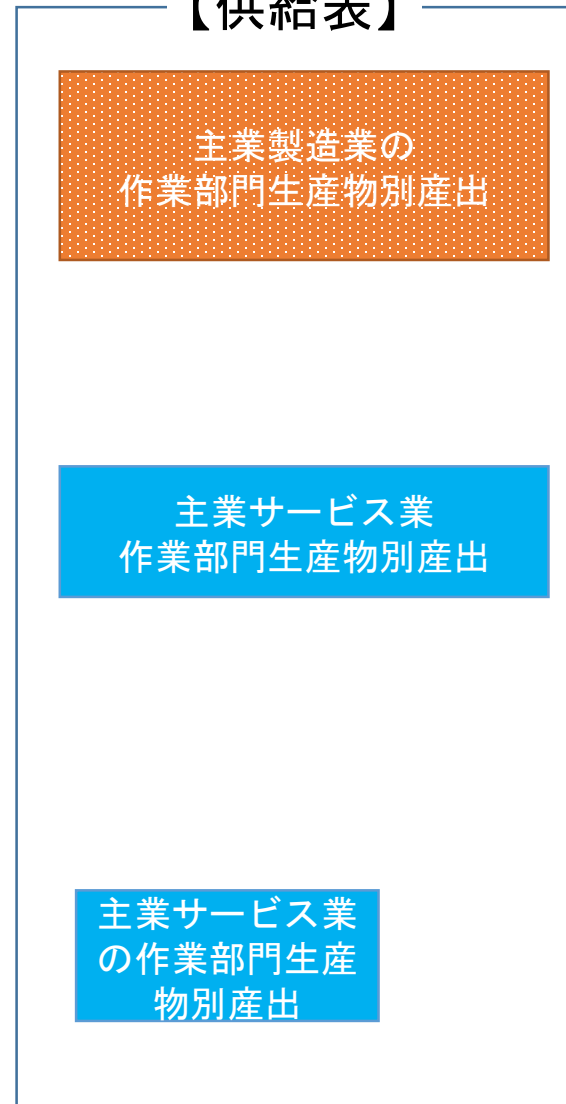
課題
経済センサス以外からの推計値を含む生産物別国内生産額との乖離の調整



課題 副業の分割
従来のIO推計においては、集計値から単純に推計

今回は、経済センサスにおいてこれまでより詳細な状況が把握されることに加え、産業によってどのような生産物が産出されるかを特定した推計を併用

【供給表】



ステップ2、ステップ3

サービス分野の使用表 (I×P) と生産物別の第一次投入額 (P×P) 推計

